

築港小6年生

玉野高で12日、築港小の6年生19人がバイオリンの体験授業を受講した。高校の教員や生徒と交流しながら、楽器について理解を深め、演奏する楽しさを学んだ。

同高の「ソルフェージュ」という音楽の授業を担当する教員と履修する3年生2人が講師を務めた。児童はバイオリンの部位の名称や大きさなどのクイズに挑戦し、基礎知識を学んだ。演奏体験では、児童が、

体験授業 玉野高生らと交流

バイオリン弾けた

バイオリンや弓の持ち方を教えてもらいながら弦をはじいた。高校生が弾いてみせた音と同じ音を出すことに挑戦したり、弦を押さえてさまざまな音色を奏でたりして楽しんだ。講師による生演奏もあり、バイオリンスト葉加瀬太郎さんの代表作「情熱大陸」などで盛り上がった。

生や高校生が丁寧に教えてくれた」と笑顔。同高の長谷川美鈴さん(18)は「分かってきた」と話していた。体験授業は玉野高と築港小の連携学習事業の一環として実施した。

(矢吹喜一朗)

同小の目尾彩乃さん(12)は「思っていたよりも明るい音色だった。先玉野高の教員や生徒からバイオリンの弾き方を教わる築港小の6年生



(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。